

インターバンクの声（2017年11月9日）

週明けの東京市場で114円70銭台まで円売り・ドル買いが進み、久々に115円突破が期待された円相場だが、今のところ115円突破とはならず、昨夜のニューヨーク市場では113円40銭台までドルが売られる局面もあった。先週トランプ米大統領が税制改革について「クリスマスまでに実現することを期待する」と語り、市場にはいよいよ税制改革が実施に移されるとの期待が広がったが、昨日は米上院の共和党執行部が法人減税の実施見送りを検討しているとの報道が伝わり、再び税制改革への先行き不安が強まってしまったのだ。

ただ、その後に米上院が9日に税制改革法案を公表するとしたことや、ムニューシン米財務長官が大統領同様に年内の税制改革成立を目標にしていると改めて表明したことから、円相場も113円台後半に戻している。今の円相場は米長期金利の変化に敏感で、昨夜もニューヨーク市場の後半に米長期金利が上昇したこともドル買いを後押しした。東京時間は、中国訪問中のトランプ大統領の動向や、北朝鮮の反応に注目したい。

提供：SBIリクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。